

大阪YMCA第14回チャリティーラン2008

支援金は4,149,000円

小雨の中63チームが参加 ご支援ありがとうございました!



2008年
11月24日(月・祝)
万博記念公園

MC KANSAI



三菱商事株式会社の「MC KANSAI」は、「YES WE RUN」とプリントされた鮮やかな赤色のTシャツのユニフォームを身にまとい、活気ある姿で参加されました。

メンバーは運動好きの方がそれぞれ違った部署から人選され、男性3人・女性3人の男女混合チームでした。今大会に向け、自主トレーニングを各々されていたそうです。

「あいにくの雨でしたが、走ることはとても気持ちよく、幸せな気分になりました。できれば継続して参加したいです!」とすがすがしい表情で語られました。

走行中、『がんばれ』と装飾された手作りのおうちわを持ったご家族・会社の仲間たちの大きな声援に、爽やかな笑顔でこたえている姿が印象的でした。(藤岡侑子・統括本部スタッフ)



今年度の大阪YMCAチャリティーランは、11月24日(月・祝)、万博記念公園(吹田市)で、小雨の中で開催されました。

参加チームは順位制(20チーム)、宣言タイム制(31チーム)、オープン制(12チーム)の合計63チーム。約750名が参加していただきました。その内、ボランティアとして参加してくださったのは約200名でした。また、当日までの支援金は4,149,000円でした。



大阪YMCAチャリティーランでは、タイムを競う「順位制」、自分のペースで走れるように宣言タイムと実走タイムの誤差を競う「宣言タイム制」、走ることを楽しむ「オープン制」の3つの競技があります。また、楽しいコースチュームを着て走るチームもあり、競技ルールを工夫しています。そのため、悪天候の中でしたが、ランナーと観客みんなが楽しそうに、このチャリティーランに参加したことに満足して下さったようです。

このチャリティーランが開催できたのは、当日の200名ものボランティアの方たちの働きのおかげです。三菱商事(株)、ジョンソンコントロールズ(株)、ザ・リッツ・カールトン大阪、NTT西日本(株)、日興シテイホールディングス(株)の社員の方々や大阪経済大学の学生、ワイズメンズクラブの方々や運営ボランティアとして活躍していただきました。ボランティアの輪はチャリティーランを通して確実に広がっています。

入賞チームのメダルは大阪YMCA国際専門学校高等課程「表現・コミュニケーション」学科の先生と生徒がデザイン・作成してくださりました。YMCA内部でもボランティアの輪が広がっています。

今年のチャリティーランは冷たい雨が降る中で開催されましたので、ランナー、観客、ボランティアの方々には楽しいことだけではなく、困難でつらいこともあったと思います。心より御礼申し上げます。チャリティーランのスローガン「ガンゴブ オンザラン」、すべての隣人への思いやりを実現するために皆様の支援が必要です。来年も是非チャリティーランでお会いしましょう。ありがとうございました。

(大会実行委員長 牧口 望)

YMCA桃の里



う悪天候の中でのレースとなりましたが、体を動かすことが大好きな子どもたちは力一杯走り、次の友達のところまで一生懸命タスキを運び、見事ゴールまで1本のタスキを繋ぐことができました。

今回チャリティーランに、リーダーと子どもたち、そして応援に来てくださる保護者の方と一緒に参加したことで、YMCAの活動を共に楽しむことの喜びを感じることができました。冷たい雨の中でも子どもたちや保護者の方の温かい笑顔がたくさん見られる大会となりました。

(八木知加・YMCA桃の里スタッフ)

今回、YMCA桃の里からは初出場となるチャリティーラン。YMCAの様々な活動を知ってもらいたいと思い、今回は日ごろプログラムに参加している子どもたちと一緒に走りました。

また、ただ走るだけではなく、せつかくみんなでお出場の機会があるなら何か思い出に残るようにと今年行われた北京オリンピック選手に仮装して参加しました。

大会当日、仮装のユニフォームに袖を通し、少し恥ずかしそうにしながらも、とても嬉しそうにオリンピックで活躍した選手になりきり、走る順番を待ちました。スタート時点から雨が降るとい

堺ファイブズ



コースの確認はできるだろうか、間違いないか、走り抜く子どもたちの姿に感動するばかりでした。普通に参加し、皆さんと一緒に走れたことが一番嬉しかった。そして3位入賞、子ども以上に、この場にお集まりの皆さんにありがとうございました。

堺ファイブズは、2005年に堺市の人々を中心に発足した知的障がい者の陸上競技クラブです。活動を通じて、障がいをもった人たちが、目標(励み)と楽しみをもって日々の生活を送り、積極的な社会参加と自立を目指しています。現在、大阪府下、他県からあわせて26名の会員がいます。本人のニーズに応じて、週1回から5回、主に夜、活動しています。

活動場所(拠点)は、大阪市の長居障害者スポーツセンター、長居公園、堺市の金岡競技場、ファインプラザなどです。幅広い社会性を身につけるために、料理教室、マリンスポーツ教室、山登り、グループ旅行、カラオケなどにも随時取り組んでいます。指導されている当山和明さんは「YMCAの活動の幅広さを感じています。来年は優勝を目指します」とおっしゃっていました。

(中本和子・堺YMCA運営委員)

コースの確認はできるだろうか、間違いないか、走り抜く子どもたちの姿に感動するばかりでした。普通に参加し、皆さんと一緒に走れたことが一番嬉しかった。そして3位入賞、子ども以上に、この場にお集まりの皆さんにありがとうございました。

堺ファイブズは、2005年に堺市の人々を中心に発足した知的障がい者の陸上競技クラブです。活動を通じて、障がいをもった人たちが、目標(励み)と楽しみをもって日々の生活を送り、積極的な社会参加と自立を目指しています。現在、大阪府下、他県からあわせて26名の会員がいます。本人のニーズに応じて、週1回から5回、主に夜、活動しています。

活動場所(拠点)は、大阪市の長居障害者スポーツセンター、長居公園、堺市の金岡競技場、ファインプラザなどです。幅広い社会性を身につけるために、料理教室、マリンスポーツ教室、山登り、グループ旅行、カラオケなどにも随時取り組んでいます。指導されている当山和明さんは「YMCAの活動の幅広さを感じています。来年は優勝を目指します」とおっしゃっていました。

(中本和子・堺YMCA運営委員)

